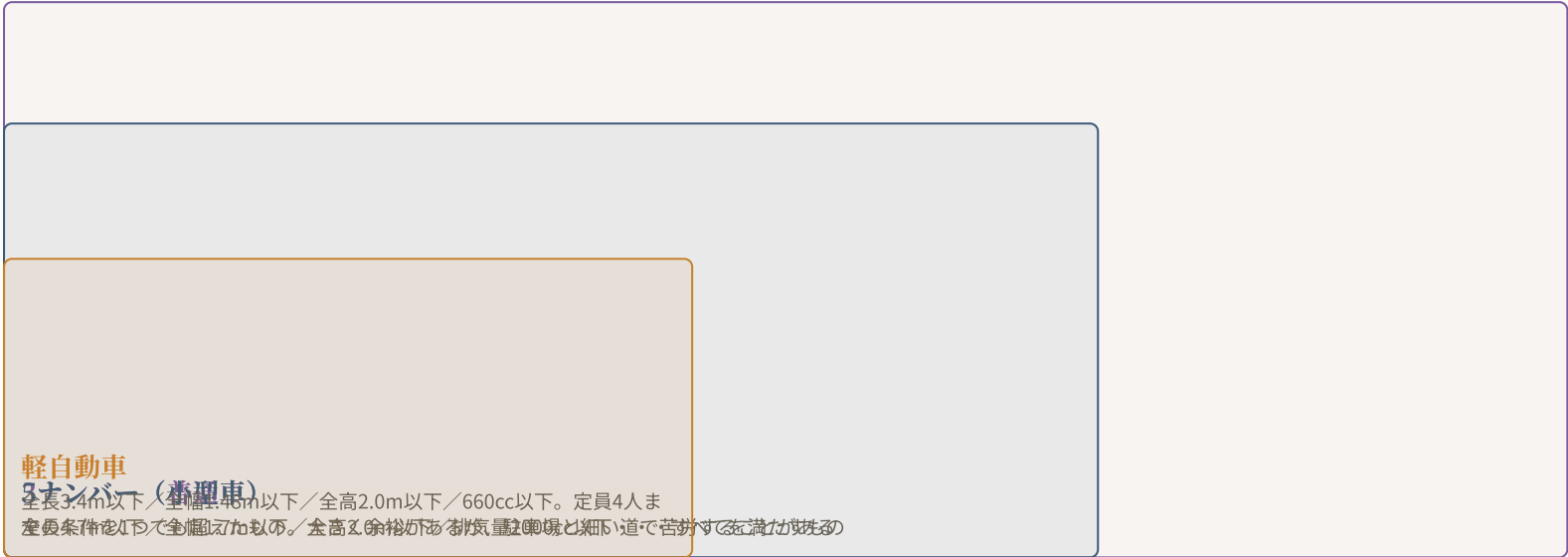


サイズと区分の地図・・・見るべき数字は4つだけ

軽・5ナンバー・3ナンバーの枠と、毎日の生活に効いてくる数字。馬力や最高速度より、こちらを先に見てください。

枠の図は大きさの関係を示すもので、正確な縮尺ではありません。実際の寸法は各表の数値をご覧ください。

3つの区分は、入れ子になっている



※ 図は関係を示すためのもので、正確な縮尺ではありません

区分	税金・料金の特徴	向いている人
軽自動車	自動車税・重量税がもっとも安い。高速料金にも割引がある	維持費を抑えたい／街乗り中心／狭い道
5ナンバー	排気量が小さいぶん税は軽い。日本の道と駐車場に合う	取り回しを優先／家族で使う
3ナンバー	税金は 排気量で決まる 。区分そのもので高くなるわけではない	広さや装備を優先／駐車場に余裕がある

🏆 いちばん多い誤解

「3ナンバーは税金が高い」。自動車税は排気量で決まります。排気量が小さいまま幅だけ広くて3ナンバーになった車は、税金は変わりません。気にすべきは税ではなく、駐車場と道幅のほうです。

💡 自分の基準を1つ持つ

いま乗っている車、または家族の車の全幅を調べてください。それが「慣れている幅」です。これから見る車がそれより広いか狭いか・・・基準が1つあるだけで、判断がぐっと楽になります。

⚠️ 契約前に、メジャーで測る

駐車場に入らないと契約後に気づく人が実際にいます。測るのは15分。車選びでいちばん費用対効果の高い15分です。数字はカタログの「主要諸元」に必ず載っています。

覚えておくと得をする4つの数字

全幅 1.70m これを超えると、狭い道と古い駐車場ですらくなりやすい。毎日の運転のしんどさを決める数字	全高 1.55m前後 機械式駐車場に多い制限。背の高い車を検討するなら、契約前に掲示を必ず確認
最小回転半径 小さいほど楽 ハンドルをいっぱいに切ったときの回転の大きさ。同じ大きさの車でも差が出る	車両重量 軽いほど得 重量税と燃料代に効く。同じ形なら軽いほうが維持は楽になる

駐車場で確かめること

幅	止めたあと、 ドアを開けて降りられる 余裕があるか
長さ	前後に出っ張らないか。歩道や通路をふさがないか
高さ	機械式・立体なら掲示の制限値。ルーフの装備も含めて
重さ	機械式には重量制限がある。電動車は重くなりやすい
道	家までの道でいちばん狭いところを、試乗で通ってみる